

てまり通信第 109 号＜夏＞
2026 年 7 月発行

夏を代表する花、ヒマワリは太陽に向かって大輪の花を咲かせます。花言葉は咲く色によって違い、よく見かける黄色は「あこがれ」「未来を見つめて」だそうです。見ていだけで元気になります。夏号をお届けいたします。（文 宮家秀子）

最新点訳案内

『ラジオ深夜便』5 月号…NHK ラジオ番組の月刊誌から「アンカーエッセー」を点訳しました。

『らくらくクッキング』…5 月号はお休みしました。6 月号では連載の朝日新聞《料理メモ》からのレシピと、フライパンで作る「韓国風ホットサンド」、トマト&レタスを使った「季節のおすすめメニュー」などを紹介しています。

『ねこのきもち』…5 月号では「愛猫が発症して初めて知った病気」のリアルな体験談など、6 月号ではせっかく愛猫の健康診断を受けたのに結果を見てもわからないそんな時に「猫の健診結果は、こうして読み解く」でやさしく解説しています。

『いぬのきもち』…5 月号では生活に潜むストレスを犬目線になって時間軸で紹介し、飼い主さんの行動が普段とかわる休日編もあります。6 月号はお休みしました。

『まちづくりニュース 62 号』…2026 年 6 月に府中市社会福祉協議会が発行した情報紙です。

『府中市民交響楽団第 93 回定期演奏会』プログラム…5 月 24 日（日）に府中の森芸術劇場どりーむホールで開催されたプログラムです。

『令和 8 年度府中市福祉タクシー券取扱会社一覧』…府中市福祉タクシー会社の連絡先を点訳しました。

『ボスポラス 死者たちの海峡』（川瀬美保著）…自殺した日本人音楽家の遺書を発端に、イスタンブール警察の長い長い一日がはじまる。第 15 回（2025）アガサ・クリスティー賞大賞受賞作。

『LOVE SONGS』…Stardust Revue CD 歌詞カード冊子をご依頼により点訳しました。

『手打ち』…5 月は新聞記事から「筆洗」、6 月は雑誌から「anan 総研」を点訳しました。

てまり日和

十数年ぶりに新潟県上越市にある実家の墓参りに行ってきました。最寄り駅は北陸新幹線開通後の延伸開業に伴い、新しく生まれ変わった「上越妙高駅」。駅名の「上越」は新潟県内の上越地域を指し、「妙高」は周辺の妙高山が由来です。

東京発「はくたか」に乗り、駅弁を食べてお喋りして、2 時間余りはあっという間で、乗り継ぎなしで行けてとても便利になりました。今回、姉の同窓会がきっかけで墓参り

をする事になり、会場は高田駅すぐ傍のホテルでした。

高田は雁木の町で知られ、冬は大雪になるとニュースに取り上げられ、近くには桜で有名な高田公園もあります。高校もこの周辺で学生の頃「ロミオとジュリエット」を観た映画館は残っているだろうかと 50 年ぶりに探してみました。街は昔の面影が少なく、閑散としていましたが、映画館は国の登録有形文化財「高田世界館」として、レトロな佇まいで存在していたのです。1911 年に建てられ建築当時のままの姿をとどめて現在に至り、観光スポットになっていました。でも、かつて私の記憶の中の映画館はここだったのだろうか？

次の日、兄がいる実家へ、定年退職後東京から戻り一人暮らしをし、15 年程。地域の活性化の為に頼りにされて充実しているようです。目的の墓参りはお庭の色とりどりの季節の花をお供えし、雨上がりにお参りができました。

兄・姉と 3 人だけで話したのはいつのことだったか。話が弾み、滞在 5 時間余りが過ぎてしまい、「今度はいつ？」と話ながら姉と帰路につきました。

点訳ボランティアてまり 連絡先

てまりメールアドレス temari6ten@yahoo.co.jp

代表 石黒喜美子